

第15回通常総会次第

1. 開会の言葉(司会)小林氏
2. 挨拶 (理事長) 稲岡理事長
3. 議長選出 (司会) 小林氏
4. 議事録署名人及び書記選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
 - 第一号議案 令和3年度事業報告および決算報告について
 - 事業報告(稲岡理事長)
 - 決算報告(中井理事)
 - 監査報告(高橋悦夫監事)
 - 第二号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算について
 - 事業計画(稲岡理事長)
 - 収支予算(中井理事)
7. 役員(理事・監事)の選出、新役員の就任承諾
8. 閉会宣言
9. 連絡報告事項
10. 閉会の言葉(司会)

— 総会終了後、新理事会終了まで待機 —

◎新理事会の結果報告後、親睦会に

新理事長(代表理事)・副理事長就任報告会

令和3年度事業報告書 令和3年6月1日から令和4年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 こらさ竹林及び寂照院竹林	延べ450名	約50名	約373千円
事業内容	【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	【内容】 現在、放置竹林は12.6千㎡を管理。放置竹林の枯れ竹処理と定期的の間伐作業を実施。また、タケノコの切り倒しを実施。一部竹の世代交代のためタケノコを育成検討する。 1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 維持管理を始めてから13年となり竹林として景観を維持ができています。定期的に枯れ竹の間伐で維持管理実施。今年はタケノコの豊作年のため処理が遅れ、後処理に時間を要した。来年は早めに処理を実施する。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。今期はタケノコを全部処理した。一部は地主様の要求でもみじ、山桜を残した。 3. こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、定期的に枯れ竹の間伐、搬出と一部の伐採竹の焼却作業を実施。さらに竹をチップ化してタケノコ畑の肥料に活用した。 今年は、茨木高校生が体育祭に竹材利用と作業応援に来る予定だったが、コロナ禍のため竹材(径13cm×4m 200本)は竹の学校で間伐して製作し搬出応援をして頂いた。タケノコは豊作年のため異常に出たが、全部処理をした。 今後も間伐とタケノコ処理を継続してゆく。 4. 寂照院竹林～面積1.0千㎡ 今期から放置竹林整備として管理。道路側の枯れ竹を処理して竹穂垣を作り、竹林内の間伐作業を実施、景観保全に寄与出来た。今後継続的に管理することで景観維持が可能になると思います。 5. その他 光風美竹通りの南側の竹林約3.0千㎡を景観保全のため枯れ竹の処理と雑草処理実施。管理だけの畑周辺の景観美化に貢献。 【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積を維持し、水資源の涵養に寄与し、周辺の環境美化に貢献。活動を継続するため、世代交代に取り組むと共に、会員を増やし若返りを図っていく。			

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 こらさ竹林及び寂照院竹林	延べ 450 名	企業・学校 約 50 名	約 4 千円
事業 内 容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 今期は竹炭製作と茨木高校体育祭用に竹提供が出来た。良質の竹炭作りを実施。80kgの竹炭が出来頒布先模索。 竹チップ、竹穂の活用にも活用用途を拡大する。</p> <p>① 七夕、門松用竹提供 寺田中学校、太鼓山自治会、東山自治会、 せきゅりてい・ブランケット(保育園)、マムフローラ(介護施設)等 真竹 30 本</p> <p>② 茨木高校竹提供 体育祭用 竹 4m×200 本、真竹 4m×9 本</p> <p>③ 紋珠様用に竹炭製作の竹提供 ドンボ(親竹伐採) 2トンロング 3 台分 竹の穂先 24 束</p> <p>④ 地域の農業用(土壌改良用)に竹炭を提供 石田ファーム 軽トラ 1 台分 大原野(大西)ファーム 軽トラ 1 台分と土のう袋 10 袋分</p> <p>⑤ 地域の農業用(土壌改良用)に竹チップ利用 竹の学校竹林(検討用) 約 1m³</p> <p>⑥ イベント用に竹提供 竹あかりライトアップイベントに協力 竹灯ろう 100 本製作・提供 竹プランター設置事業に協力 竹プランター 14 個製作</p> <p>【活動の成果と課題】 今期はコロナ禍でイベントが中止になり竹使用減少。竹チップはたけのこ畑の作業効率アップと有機肥料に使用した。 チップターの燃料代コストが課題だが、今後も竹有効利用の拡大を進める。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 および明神前竹林	約 1000 人	約 90 名 (エコグループ)	約 439 千円
事業 内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 対象はタケノコ畑の管理竹林の長法寺 A 竹林～面積 4 千㎡と明神前竹林～2 千㎡一連の作業（新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ）を実施。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p>（主な共同作業）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 5月 先止め、お礼肥～タケノコ掘りが終わったあと ② 7月 お礼肥、下草刈、サバエ刈り ③ 9月 親竹の更新 ④ 10月 稲わら収集～長岡京市内 ⑤ 11月 施肥・ワラ敷き ⑥ 12月 土入れ～バックフォー、運搬車投入（2日間） ⑦ 4月 タケノコ掘り <p>【活動の成果と課題】</p> <p>今年度は表年だが裏年の昨年より少し遅れた初掘りとなり、不安なスタートであったが周辺のタケノコ畑よりは恵まれた収穫となった。 A 竹林は昨年比 30%アップの収穫量となったが、1 昨年の表年より 20%ダウンであり、原因を調べる必要がある。4 年目を迎える明神前竹林の収穫量は品質も良くなり 1 昨年比 20%アップして順調に育っている。 収穫した両竹林のタケノコ約 2,400kg(前年比+430kg) で、会員への頒布には十分な量となった。また 3～4 月のエコツアー体験客は例年並みとなった。</p> <p>会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年より B 級品を大幅に安価でタケノコを頒布、エコツアー体験者には昨年同様 2 割程度の負担増頂いた。</p> <p>年々高齢化していく中での作業（土入れの運搬作業）の負担の対策として、土入れ作業にバックフォーを投入しているが、明神前竹林に 1 日投入して作業を終わらせ、A 竹林は経費節減のため 1 日投入で土入れ作業を半分にして残り分の土を山に積んでもらい、自分達で土の山から土採りするつもりであったが、次の作業日までには雨が降り土の山が固まってしまう、結局バックフォーで再投入することになった。3 作業日で済ませて、無事年内に終了することが出来た。来期はもう一度バックフォーの 2 日投入をトライする。</p> <p>●明神前竹林は肥料の投入量を増やして A 竹林に近い収穫量になった。収穫量アップは頒布の維持に貢献した。タケノコ掘りが後手に回らないように、今年は作業日の前半を明神前竹林で、後半を A 竹林と 2 部制にして収穫、A 竹林に集荷するやり方をトライした。明神前竹林分の集荷遅れが無くなり、出荷業務が改善された。 さらに、大量に出る中掘りタケノコと掘り遅れたタケノコを大釜で茹でタケノコにすることによって、ご近所に引き取って貰う量が増加した。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約120人	展示会に来場の 一般の市民 約500人	約18千円

事業
内容

【目的】

竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、会員勧誘活動につなげていく。

【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。

- ・06/12(土) 福祉連合会と竹林管理懇談～長法稲荷前の竹林の駐車スペース作り等
- ・07/21(水), 05/15(日) 地元の農家の草刈り行事に同期～明神前竹林周辺
- ・10/13(水) 東大大学院生(中国からの留学生)来訪～A竹林
卒研のために各地の竹林整備の実情をヒヤリング
- ・11/06(土), 11/13(土) 京都大学生 坂口さん来訪～A竹林
放置竹林の増加に関心、ボランティア活動にも参加
- ・10/03(日), 11/07(日) ものづくり市出店(女子会) 9:00～バンビオ公園
竹林整備啓蒙を兼ねて「竹林からのおくりもの」を展示・頒布
- ・11/07(日) 森林ボランティアイベント応援～西代里山公園裏の竹林
- ・11/10(水) 長岡中学1学年の竹の総合学習講師(稲岡)～長岡中学
- ・11/13(土) 地域の緑化と特産の竹を生かしたにぎわいづくりに協力
竹プランター14台製作とプランターへ花の苗植え
- ・11/20(土) 枚方里山の会の見学)～A竹林
主にタケノコ栽培について知りたいということで、ケノコ栽培の歴史と
現状まで説明。こちらの孟宗竹に対し、先方は真竹とのことでしたが。
- ・11/28(日) **13th 環境フェア**～今期もコロナウイルスのためデジタル化行事に対応
市役所のHPに竹の学校紹介文が掲載
2年続けてFMおとくに特番で竹の学校の環境への取り組み内容等を発信
- ・01/24(月) **NHK BS プレミアム「ワイルドライフ」放映、BDも発売**
1年間竹、学校管理竹林で撮影に協力しました。
- ・02/03(水) 長法稲荷神社初午祭礼参列～長法稲荷
- ・03/24(木) 「フラットね ながサポ」へPICK UP 欄投稿(稲岡)
- ・04/03(日) ものづくり市・タケノコ試販(女子会)～バンビオ公園
- ・04/07(木) **ABC テレビ「news おかえり」放映**～A竹林でタケノコ掘り
「行っとこFU-FU」長岡京編が3/17に撮影、何とか数本掘れました。
- ・04/20(水), 04/25(月) 神足小学校とやよい工房へタケノコ提供
- ・04/22(金) セキュリティぶんけっと園児の竹林体験
- ・05/08(日) **長岡京ジャズライブ応援**～竹あんどん展示
- ・05/27(金) 京都芸術大生来訪～竹の卒業記念品の相談

【活動の成果と課題】

今回でNHK BS プレミアム 番組撮影・放映が「美の壺」「ニッポンの里山」に続き3件目!となり、インターネットを通じて広報活動が実ってきている。また、会員皆様の勧誘により会員が増えた。

これからも、広報の重点を会員募集におくようにしていく。

本年度は新型コロナウイルス感染対策のため、各種地域活動への参加や、作品評価も高く、展示会への期待度も高い竹あんどんのイベントへの作品展示や、見学受け入れ等は減少した。ABCテレビ「news おかえり」放映により、コロナの感染が落ち着いていた4月の1エコツアーの人数は、例年並みに持ち直した。

2021年度(令和3年) 活動計算書

2021年6月1日から2022年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 会費		
正会員受取会費	31,000	
入会金	4,000	35,000
2. 寄付金		
受取寄付金	432	432
3. 受取助成金		
長岡京水資源対策基金	200,000	200,000
4. 事業収益		
(1) 筍栽培事業		
会員筍頒布料	400,450	
発送料、箱代	146,000	
工口頒布料	201,000	
入山協力金	44,000	791,450
(2) 放置竹林整備事業		0
(3) 竹材有効活用事業		0
(4) 地域活動		
竹材活用品提供協力金	43,100	
協賛協力金		43,100
5. その他収益		
雑収入	14,941	14,941
経常収益計		1,084,923
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	0
(2) その他経費		
賃借料	2,400	
委託料	284,130	
材料費	95,300	
消耗備品	66,706	
補修費	4,400	
交通費	280	
労務費	31,768	
車両費	163,980	
消耗品費	176,658	
雑費	9,000	
その他経費計	834,622	
事業費計		834,622
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	111,600	
宣伝広告費	13,200	
水道光熱費	2,000	
通信費	1,512	
福利厚生	18,000	
租税公課	0	
交通費	55,140	
印刷費	1,126	
交際費	4,970	
事務費	28,582	
雑費	32,421	
会議費	0	
その他経費計	268,551	
管理費計		268,551
経常費用計		1,103,173
当期正味財産増減額		-18,250
前期繰越正味財産額		845,018
次期繰越正味財産額		826,768

2021年度(令和3年) 財産目録

2022年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位：円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	74,664		
普通預金			
ゆうちょ銀行	71,843		
京都銀行	626,411		
JAバンク	53,850		
流動資産合計		826,768	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			826,768
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			826,768

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、令和3年6月1日から令和4年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び活動計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び活動計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

高橋 悦夫



監事

高橋 治女



令和3年度 貸借対照表

令和4年5月31日現在

特定非営利活動法人 竹の学校
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	826,768	
流動資産合計		826,768
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		826,768
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	845,018	
当期正味財産増減額	-18,250	
正味財産合計		826,768
負債及び正味財産合計		826,768

本書は当法人の貸借対照表に相違ありません

特定非営利活動法人 竹の学校

理事長 稲岡 利春

令和4年度(令和4年6月～令和5年5月)事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

事業内容	実施時期・目標
1) 放置竹林整備作業	
① 長法寺A竹林 4千㎡ タケノコ栽培・・・3)項参照	通年作業による
② 明神前竹林 2千㎡ タケノコ栽培・・・3)項参照	A竹林とシリーズ収穫
③ 長法寺B/C竹林 4千㎡ 間伐作業	奇数月 第4(土)
④ 寂照院竹林(新) 1.5千㎡ 伐採作業・竹垣整備	偶数月 第4(土)
⑤ こらさ竹林 7千㎡ 伐採作業・伐採竹搬出	毎月 第2(土)
2) 竹材の有効利用 (4.5.11.12月以外)	
① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討	10月・2月
② 伐採竹で竹工芸・竹細工	毎月第1・3(土)
③ 現在の伐採竹提供先の継続 ※今期もイベント絡みで不確定 茨木高校生の竹取り対応 京の七夕・地域の七夕用竹材供給 地域の門松用竹材供給 夏の流しソーメン用竹材供給	6月 7月 12月 7～9月
④ 伐採竹の新たな活用先(竹チップ・竹枝)の開拓	9・10月
3) 京たけのこの生産と技術継承(長法寺A竹林 4千㎡、明神前竹林 2千㎡)	
① 京都式軟化栽培法の継承	
新竹心止め 5月	下草・サバエ刈り 7月
施肥 6・11月	間伐 9～10月
藁敷き 11月	土入れ 12月
② 土入れのバックホウ料金抑制 A竹林1.5日、明神前竹林0.5日の2日間 残りは土の山から運搬車と一輪車に自分で土を積んで運ぶ	12月
③ 改良施肥方法の継続(効果改良・作業軽減) 施肥 従来3回→2回(明神前竹林は3回)	6・11月
④ 前半は明神前竹林、後半 A竹林で2部制でタケノコ収穫 集荷はA竹林、収穫量は各竹林で計量後出荷	3～5月
⑤ タケノコ栽培作業の後継者のためのデータ取り ワラや肥料の使用量、親竹伐採量等を記録(HP)に残す	随時
⑥ 竹チップの利用拡大等検討	
⑦ 表年の収穫量増対応～裏年時は収穫量で実施判断 会員頒布以外に4月に「ものづくり市(毎月第1日曜)」に出店。 この日は店子とタケノコ早朝丁寧?掘り隊が必要。	4月
4) 地域活動・支援活動 ※ただしイベントはコロナ禍で不確定	
① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 間伐作業の体験	4・5月 9～10月
② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化	2回(春・秋)
③ 他グループとの協業・見学受け入れ トヨタソーシャルフェス!～こらさ竹林で竹林整備体験etc 次世代のための環境保全/保護活動/環境学習	3団体程度 9月
④ 竹工芸品(主に竹行灯)の展示による広報活動 竹あかり(八条ヶ池遊歩道)、サポセンフェスタと環境フェア 竹材確保と竹灯籠づくり	9・10月

2022年度(令和4年) 活動予算書

2022年6月1日から2023年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位：円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	34,000		
入会金	2,000	36,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	50,000	50,000	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	200,000	200,000	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	400,000		
発送料、箱代	150,000		
工口頒布料	200,000		
入山協力金	40,000	790,000	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業	0	0	
(4) 地域活動			
竹材活用品提供協力金	40,000		
協賛協力金	0	40,000	
5. その他収益			
雑収入	80,000	80,000	
経常収益計			1,196,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	10,000		
委託料	300,000		
材料費	120,000		
消耗備品	70,000		
補修費	50,000		
交通費	20,000		
労務費	50,000		
車両費	170,000		
消耗品費	200,000		
雑費	10,000		
その他経費計	1,000,000		
事業費計		1,000,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	120,000		
宣伝広告費	13,000		
水道光熱費	2,000		
通信費	2,000		
福利厚生	17,000		
租税公課	0		
交通費	60,000		
印刷費	5,000		
交際費	5,000		
事務費	5,000		
雑費	30,000		
会議費	3,000		
その他経費計	262,000		
管理費計		262,000	
経常費用計			1,262,000
当期正味財産増減額			-66,000
前期繰越正味財産額			826,768
次期繰越正味財産額			760,768

令和3年度作業責任者(案)

担当作業・業務		担当者
1. 京たけのこ	生産	野本、西原、田中よ
	頒布・収穫量管理	中井、中矢
2. 会計全般		中井、中矢、田中み
3. 竹林伐採整備		世良田、高橋え、荒木
5. 竹工芸		稲岡と、梶原
6. 環境整備		小椋、荒木、梶原
6. 花壇の維持管理		稲岡き、高橋も
7. 備品管理(物置管理)		高橋え、中井、田中み
8. 広報	竹林日記	稲岡と、世良田、 中井、澤田石、西角
	ホームページ管理 エコツアー受入れ	稲岡
9. 竹炭作り		高橋え、荒木、西原
10. 竹あかり・環境フェア		東、中矢、澤田石
11. 竹の学校イベント・教育		中井、澤田石、西角
12. 外渉窓口		世良田、稲岡と(WEB)

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人も積極的な協力をお願いします。